

学科名：機械・システム工学科 機械工学コース

学部の教育目的		学科の教育目的				
工学部では、グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者を「グローバルイマジニア」と呼び、人材育成の基本コンセプトとして、安全で安心な社会の創造のための基礎的な知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力に加えて、歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を持つ技術者・研究者を養成する。また、工学部では、安全で安心な社会の創造に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元する。		多種多様な革新的機械・システム技術の創造に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成する。				
		学科・コースのDP, CP (◎=DP/CP達成のために特に重要な事項、○=DP/CP達成のために重要な事項、△=DP/CP達成のために望ましい事項)				
DP	学部	(a) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学に関する知識・能力	(b) 各分野の専門技術者として国際社会の中で責任を果たすための専門知識・能力	(c) 産業実践力も含め、多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力	(d) 夢を形にする高度専門技術者に求められる創造力、自己学修力、問題解決能力、協調性、およびコミュニケーション能力を併せた総合力	(e) 技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任に関する理解
	学科	(MSa) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学、情報技術に関する知識・能力	(MSb) 本学科の各コース(機械工学, ロボティクス, 原子力安全工学)における専門的知識・能力	(MSc) 多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力および専門的知識・能力を他分野に応用する能力	(MSd) 工学部の(d)と同じ	(MSe) 工学部の(e)と同じ
CP ※DPと特に関係が深いものを抜粋	学部	④専門基礎科目は、工学全般の基礎として必須である数学や物理等の科目、産業実践力に関する科目、国際教養力に関する科目等で構成します。	⑤専門科目は「学科専門科目」、「コース専門科目」、「卒業研究」により構成します。学科専門科目は、各学科の基礎(すなわち、工学のオーソドックスな一つの分野の基礎)の学修を通して確かな専門基礎知識・技能を修得させることを主目的とします。コース専門科目は、複数のコースをもつ学科に配置され、コースで必要な専門知識・技術および各分野の技術の展開力の基本を修得させることを目的とします。	②「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。 ④専門基礎科目は、工学全般の基礎として必須である数学や物理等の科目、産業実践力に関する科目、国際教養力に関する科目等で構成します。 ⑤専門科目は「学科専門科目」、「コース専門科目」、「卒業研究」により構成します。学科専門科目は、各学科の基礎(すなわち、工学のオーソドックスな一つの分野の基礎)の学修を通して確かな専門基礎知識・技能を修得させることを主目的とします。コース専門科目は、複数のコースをもつ学科に配置され、コースで必要な専門知識・技術および各分野の技術の展開力の基本を修得させることを目的とします。	②「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。 ⑥4年次に卒業研究を通常の必修科目として配置します。 ⑦初年次教育を充実させるための必修科目を、共通教育及び専門科目に配置し、大学での主体的な学びに必要となる基礎的な素養等を修得させるとともに、将来のキャリアについて考える手がかりを与え、学びの動機づけを強化します。 ⑩知識・技能を総合して問題を解決する実践的能力を育成するため、創成教育の科目を設けます。	②「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。 ⑥4年次に卒業研究を通常の必修科目として配置します。 ⑦初年次教育を充実させるための必修科目を、共通教育及び専門科目に配置し、大学での主体的な学びに必要となる基礎的な素養等を修得させるとともに、将来のキャリアについて考える手がかりを与え、学びの動機づけを強化します。 ⑧産業実践力の中でも特に技術経営等についてより深く体系的に学びたい学生のために、副専攻を設けます。 ⑩知識・技能を総合して問題を解決する実践的能力を育成するため、創成教育の科目を設けます。
	学科 (専門に関わる部分)	①1年次前期に、学科共通の専門導入・基礎科目を中心に配置します。 ②1～2年次に、工学全般の基礎である数学や自然科学、情報技術の科目を配置します。 ④1年次後期～2年次に、機械系、知能システム系、原子力系いずれかの基礎となる専門的な科目を中心に配置します。	③1年次後期には、仮配属として学生は機械工学コース、ロボティクスコース、原子力安全工学コースのいずれかに所属します。 ④1年次後期～2年次に、機械系、知能システム系、原子力系いずれかの基礎となる専門的な科目を中心に配置します。 ⑤2～3年次に、専門に係る技術等の修得を目的とする実験・演習科目を配置します。 ⑥3年次には、本配属として学生は所属コースを決定します。 ⑦3年次に、コースごとにそれぞれ機械工学、ロボティクス、原子力安全工学の高度な専門知識に係る科目を配置します。 ⑧4年次において卒業研究に専念できるように、卒業研究に着手するための要件を設け、これを満たした学生だけが卒業研究を実施できます。	⑤2～3年次に、専門に係る技術等の修得を目的とする実験・演習科目を配置します。	⑨技術者がグローバルに活躍する上で必要な技術英語に係る科目を4年次に配置します。	

科目名							開講時期
共通教育科目	1 大学教育入門セミナー			◎			1年前期
	2 (第1)外国語科目(英語)				◎		1～2年通期
	3 情報処理基礎科目			◎			1年前期
	4 ものづくり・産業振興・技術経営分野(地域コア科目群)			◎			-
	5 持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群)			◎			-
	6 持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群) 科学技術と倫理			○		◎	-
	7 原子力・エネルギー分野(地域コア科目群)			◎			-
	8 人間理解・言語コミュニケーション分野(教養教育科目群)			◎			-
	9 歴史・文化理解分野(教養教育科目群)			◎			-
	10 社会経済分野(教養教育科目群)			◎			-
	11 科学技術分野(教養教育科目群)			◎			-
	12 教養専門教育科目群			◎			-
1 微分積分I	◎					1年前期	
2 線形代数I	◎					1年前期	
3 物理学A(力学)	◎	○				1年前期	
4 微分積分II	◎					1年後期	
5 線形代数II	◎					1年後期	
6 コンピュータ入門	◎					1年後期	
7 コンピュータ演習			◎			2年前期	
8 物理学実験	◎	○				1年後期	
9 応用数学A(微分方程式)	◎					2年前期	
10 応用数学B(フーリエ解析)	◎					2年前期	
11 応用数学C(ベクトル解析)	◎					2年前期	
12 物理学B(電磁気学)	◎	○				2年前期	
13 物理学D(熱・波・光)	◎	○				2年前期	
14 応用数学D(複素関数論)	◎					2年後期	
15 応用数学E(確率・統計)	◎					2年後期	
16 応用電磁気学		○		◎		2年後期	
17 工業日本語I					◎	1年前期	
18 工業日本語II					◎	1年後期	
19 工業日本語III					◎	2年前期	
20 工業日本語IV					◎	2年後期	
21 学際実験・実習I					◎	2年前期	
22 学際実験・実習II					◎	3年前期	
23 放射線安全工学	◎		○			2年後期	
24 知的財産権の基礎知識				◎		3年後期	
25 アントレプレナーシップ論					◎	3年前期	
26 ベンチャービジネス概論					◎	4年前期	
27 フロントランナー				◎	○	3年後期	
28 ものづくり基礎工学		◎		○	○	1年後期	
29 海外短期インターンシップI					◎	1-4年	

専門 教育 科目	30	海外短期インターンシップⅡ				◎	1-4年	
	31	機械・システム工学科概論Ⅰ			◎	○	1年前期	
	32	物理化学	◎	○				1年前期
	33	情報処理演習			◎			1年前期
	34	エネルギー環境概論			◎			1年前期
	35	はじめての原子力工学			◎			1年前期
	36	機械・システム工学科概論Ⅱ			◎	○		1年後期
	37	解析力学	◎					1年後期
	38	機械材料Ⅰ			◎			1年後期
	39	電気工学概論		◎				1年後期
	40	計測工学基礎		◎				1年後期
	41	製図基礎	○	◎				1年後期
	42	材料科学総論		○	◎			1年後期
	43	生物システム入門			◎			1年後期
	44	計算機システム	○		◎			1年後期
	45	材料力学Ⅰ	○	◎				2年前期
	46	熱力学Ⅰ	○	◎				2年前期
	47	流れ学Ⅰ	○	◎				2年前期
	48	製図・CAD基礎	○	◎				2年前期
	49	ロボットと医療・福祉			◎			2年前期
	50	機械材料Ⅱ		◎				2年前期
	51	制御工学Ⅰ	○	◎				2年後期
	52	機械力学Ⅰ	○	◎				2年後期
	53	機械工作実習		◎				2年後期
	54	材料力学Ⅱ	○	◎				2年後期
	55	熱力学Ⅱ	○	◎				2年後期
	56	流れ学Ⅱ	○	◎				2年後期
	57	原子炉構造工学入門		○	◎			2年後期
	58	創造演習Ⅰ				◎		3年前期
59	原子カプラント工学			◎			3年前期	
60	数値解析入門	◎					3年前期	
61	材料力学Ⅲ	○	◎				3年前期	
62	流体力学	○	◎				3年前期	
63	機械力学Ⅱ	○	◎				3年前期	
64	材料強度学		◎				3年前期	
65	制御工学Ⅱ	○	◎				3年前期	
66	創造演習Ⅱ				◎		3年後期	
67	量子力学		○	◎			3年後期	
68	伝熱工学	○	◎				3年後期	
69	機械システム技術英語					◎	4年前期	
70	加工学Ⅰ		◎				2年前期	
71	機械要素設計Ⅰ	○	◎				2年後期	
72	加工学Ⅱ		◎				2年後期	
73	メカトロニクス	○	◎				2年後期	
74	機械工学実験		○		◎		3年前期	
75	機械要素設計Ⅱ		◎				3年前期	
76	エネルギー変換		◎				3年前期	
77	トライボロジー		◎				3年後期	
78	先端機械設計演習		○	◎			3年後期	
79	卒業研究	○	○		◎	○	4年通年	

学科名：機械・システム工学 ロボティクスコース

<p>学部の教育目的</p> <p>工学部では、グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者を「グローバルイマジニア」と呼び、人材育成の基本コンセプトとして、安全で安心な社会の創造のための基礎的な知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力に加えて、歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を持つ技術者・研究者を養成する。また、工学部では、安全で安心な社会の創造に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元する。</p>	<p>学科の教育目的</p> <p>多種多様な革新的機械・システム技術の創造に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成する。</p>
---	---

学科・コースのDP、CP(◎=DP/CP達成のために特に重要な事項、○=DP/CP達成のために重要な事項、△=DP/CP達成のために望ましい事項)

<p>DP</p>	学部	(a) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学に関する知識・能力	(b) 各分野の専門技術者として国際社会の中で責任を果たすための専門知識・能力	(c) 産業実践力も含め、多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力	(d) 夢を形にする高度専門技術者に求められる創造力、自己学習力、問題解決能力、協調性、およびコミュニケーション能力を併せた総合力	(e) 技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任に関する理解
	学科	(MSa) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学、情報技術に関する知識・能力	(MSb) 本学科の各コース(機械工学、ロボティクス、原子力安全工学)における専門的知識・能力	(MSc) 多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力および専門的知識・能力を他分野に応用する能力	(MSd) 工学部の(d)と同じ	(MSe) 工学部の(e)と同じ
	学部	④ 専門基礎科目は、工学全般の基礎として必須である数学や物理等の科目、産業実践力に関する科目、国際教養力に関する科目等で構成します。	⑤ 専門科目は「学科専門科目」、「コース専門科目」、「卒業研究」により構成します。学科専門科目は、各学科の基礎(すなわち、工学のオーソドックスな一つの分野の基礎)の学修を通して確かな専門基礎知識・技能を修得させることを主な目的とします。コース専門科目は、複数のコースをもつ学科に配置され、コースで必要な専門知識・技術および各分野の技術の展開力の基本を修得させることを目的とします。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。
<p>CP</p> <p>※DPと特に関係が深いものを抜粋</p>	学部	④ 1 年次前期に、学科共通の専門導入・基礎科目を中心に配置します。	③ 1 年次後期には、仮配属として学生は機械工学コース、ロボティクスコース、原子力安全工学コースのいずれかに所属します。	⑤ 2~3 年次に、専門に係る技術等の修得を目的とする実験・演習科目を配置します。	⑨ 技術者がグローバルに活躍する上で必要な技術英語に係る科目を4 年次に配置します。	
	学科(専門に関わる部分)	④ 1 年次後期~2 年次に、機械系、知能システム系、原子力系いずれかの基礎となる専門的な科目を中心に配置します。	④ 1 年次後期~2 年次に、機械系、知能システム系、原子力系いずれかの基礎となる専門的な科目を中心に配置します。	⑤ 2~3 年次に、専門に係る技術等の修得を目的とする実験・演習科目を配置します。	⑨ 技術者がグローバルに活躍する上で必要な技術英語に係る科目を4 年次に配置します。	

科目名							開講時期
1	大学教育入門セミナー			◎			1 年前期
2	(第1)外国語科目(英語)				◎		1~2 年通期
3	情報処理基礎科目			◎			1 年前期
4	ものづくり・産業振興・技術経営分野(地域コア科目群)			◎			-
5	持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群)			◎		◎	-
6	持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群) 科学技術と倫理			◎			-
7	原子力・エネルギー分野(地域コア科目群)			◎			-
8	人間理解・言語コミュニケーション分野(教養教育科目群)			◎			-
9	歴史・文化理解分野(教養教育科目群)			◎			-
10	社会経済分野(教養教育科目群)			◎			-
11	科学技術分野(教養教育科目群)			◎			-
12	教養専門教育科目群			◎			-
1	微分積分 I	◎					1 年前期
2	線形代数 I	◎					1 年前期
3	物理学A(力学)	◎					1 年前期
4	微分積分 II	◎					1 年後期
5	線形代数 II	◎					1 年後期
6	コンピュータ入門	◎					1 年後期
7	コンピュータ演習	△					2 年前期
8	物理学実験	△					1 年後期
9	応用数学A(微分方程式)	◎					2 年前期
10	応用数学B(フーリエ解析)	◎					2 年前期
11	応用数学C(ベクトル解析)	△					2 年前期
12	物理学B(電磁気学)	◎					2 年前期
13	物理学D(熱・波・光)	△					2 年前期
14	応用数学D(複素関数論)	△					2 年後期
15	応用数学E(確率・統計)	◎					2 年後期
16	応用電磁気学	◎					2 年後期
17	工業日本語 I				△		1 年前期
18	工業日本語 II				△		1 年後期
19	工業日本語 III				△		2 年前期
20	工業日本語 IV				△		2 年後期
21	学際実験・実習 I		△		△		2 年前期
22	学際実験・実習 II		△		△		3 年前期
23	放射線安全工学	△					2 年後期
24	知的財産権の基礎知識		△			△	3 年後期
25	アントレプレナーシップ論		△				3 年前期
26	ベンチャービジネス概論		△				4 年前期
27	フロントランナー		△				3 年後期
28	ものづくり基礎工学		△				1 年後期
29	海外短期インターンシップ I		△		△	△	1-4 年
30	海外短期インターンシップ II		△		△	△	1-4 年
31	機械・システム工学概論 I			◎			1 年前期
32	物理化学		◎				1 年前期
33	情報処理演習	△	△				1 年前期
34	エネルギー環境概論			△			1 年前期
35	はじめての原子力工学			△			1 年前期
36	機械・システム工学概論 II		◎				1 年後期

専門 教育科目	37	解析力学		◎				1年後期
	38	機械材料 I			△			1年後期
	39	電気工学概論			△			1年後期
	40	計測工学基礎		◎				1年後期
	41	材料科学総論		△				1年後期
	42	生物システム入門			△			1年後期
	43	計算機システム		△				1年後期
	44	製図・CAD基礎		△				2年前期
	45	ロボットと医療・福祉		△				2年前期
	46	原子炉構造工学入門			△			2年後期
	47	数値解析入門		△				3年前期
	48	量子力学			△			3年後期
	49	機械システム技術英語				◎		4年前期
	50	ロボット工学基礎実験 I		◎	○			2年前期
	51	応用電気電子回路		○				2年前期
	52	デジタル回路		○				2年前期
	53	ロボットプログラム I		○				2年前期
	54	生物とロボット		○	○			2年前期
	55	機械推論		○				2年前期
	56	ロボット工学基礎実験 II		◎	○	○		2年後期
	57	ロボットプログラム II		○				2年後期
	58	グラフィクスと認知		○				2年後期
	59	人工知能論		○				2年後期
	60	ものづくりを支える科学		○	○			2年後期
	61	制御システム論		○				2年後期
	62	ロボット要素論		○				2年後期
	63	ロボット工学創造実験 I		◎	○	◎		3年前期
	64	信号処理		○				3年前期
65	ロボットビジョン		○				3年前期	
66	インテリジェントシステム処理論		○				3年前期	
67	現代制御理論		○				3年前期	
68	ロボットメカニズム		○				3年前期	
69	基礎高分子科学		○				3年前期	
70	ロボットと非線形動力学		○				3年前期	
71	ロボット工学創造実験 II		◎	○	◎		3年後期	
72	自律システム		○				3年後期	
73	生物ロボットの認知・情報処理		○	○			3年後期	
74	人とヒューマノイド		○	○			3年後期	
75	人間情報システム		○				3年後期	
76	ブレインマシンインターフェース		○				3年後期	
77	ロボット制御論		○				3年後期	
78	卒業研究		◎		◎		4年通年	

学科名：機械・システム工学 原子力安全工学コース

<p>学部の教育目的</p> <p>工学部では、グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者を「グローバルイマジニア」と呼び、人材育成の基本コンセプトとして、安全で安心な社会の創造のための基礎的な知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力に加えて、歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を持つ技術者・研究者を養成する。また、工学部では、安全で安心な社会の創造に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元する。</p>		<p>学科の教育目的</p> <p>多種多様な革新的機械・システム技術の創造に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成する。</p>				
		<p>学科・コースのDP, CP (◎=DP/CP達成のために特に重要な事項、○=DP/CP達成のために重要な事項、△=DP/CP達成のために望ましい事項)</p>				
DP	学部	(a) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学に関する知識・能力	(b) 各分野の専門技術者として国際社会の中で責任を果たすための専門知識・能力	(c) 産業実践力も含め、多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力	(d) 夢を形にする高度専門技術者に求められる創造力、自己学修力、問題解決能力、協調性、およびコミュニケーション能力を併せた総合力	(e) 技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任に関する理解
	学科	(MSa) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学、情報技術に関する知識・能力	(MSb) 本学科の各コース(機械工学、ロボティクス、原子力安全工学)における専門的知識・能力	(MSc) 多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力および専門的知識・能力を他分野に応用する能力	(MSd) 工学部の(d)と同じ	(MSe) 工学部の(e)と同じ
CP ※DPと特に関係が深いものを抜粋	学部	④ 専門基礎科目は、工学全般の基礎として必須である数学や物理等の科目、産業実践力に関する科目、国際教養力に関する科目等で構成します。	⑤ 専門科目は「学科専門科目」、「コース専門科目」、「卒業研究」により構成します。学科専門科目は、各学科の基礎(すなわち、工学のオーソドックスな一つの分野の基礎)の学修を通して確かな専門基礎知識・技能を修得させることを主目的とします。コース専門科目は、複数のコースをもつ学科に配置され、コースに必要な専門知識・技術および各分野の技術の展開力の基本を修得させることを目的とします。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。
	学科 (専門に関わる部分)	① 1年次前期に、学科共通の専門導入・基礎科目を中心に配置します。	③ 1年次後期には、仮配属として学生は機械工学コース、ロボティクスコース、原子力安全工学コースのいずれかに所属します。	⑤ 2～3年次に、専門に係る技術等の修得を目的とする実験・演習科目を配置します。	⑨ 技術者がグローバルに活躍する上で必要な技術英語に係る科目を4年次に配置します。	

科目名							開講時期
1	大学教育入門セミナー			◎			1年前期
2	(第1)外国語科目(英語)				◎		1～2年通期
3	情報処理基礎科目			◎			1年前期
4	ものづくり・産業振興・技術経営分野(地域コア科目群)			◎			-
5	持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群)			◎			-
6	持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群) 科学技術と倫理					◎	-
7	原子力・エネルギー分野(地域コア科目群)			◎			-
8	人間理解・言語コミュニケーション分野(教養教育科目群)			◎			-
9	歴史・文化理解分野(教養教育科目群)			◎			-
10	社会経済分野(教養教育科目群)			◎			-
11	科学技術分野(教養教育科目群)			◎			-
12	教養専門教育科目群			◎			-
1	微分積分Ⅰ	◎					1年前期
2	線形代数Ⅰ	◎					1年前期
3	物理学A(力学)	◎					1年前期
4	微分積分Ⅱ	◎					1年後期
5	線形代数Ⅱ	◎					1年後期
6	コンピュータ入門	◎					1年後期
7	コンピュータ演習	◎					2年前期
8	物理学実験	◎					1年後期
9	応用数学A(微分方程式)	◎					2年前期
10	応用数学B(フーリエ解析)	◎					2年前期
11	応用数学C(ベクトル解析)	△					2年前期
12	物理学B(電磁気学)	◎					2年前期
13	物理学D(熱・波・光)	◎					2年前期
14	応用数学D(複素関数論)	△					2年後期
15	応用数学E(確率・統計)	△					2年後期
16	応用電磁気学				△		2年後期
17	工業日本語Ⅰ				△		1年前期
18	工業日本語Ⅱ				△		1年後期
19	工業日本語Ⅲ				△		2年前期
20	工業日本語Ⅳ				△		2年後期
21	学際実験・実習Ⅰ			△		△	2年前期
22	学際実験・実習Ⅱ			△		△	3年前期
23	放射線安全工学		◎				2年後期
24	知的財産権の基礎知識			△			3年後期
25	アントレプレナーシップ論			△			3年前期
26	ベンチャービジネス概論			△			4年前期
27	フロントランナー			△			3年後期
28	ものづくり基礎工学			△			1年後期

29	海外短期インターンシップ I			△			1-4年
30	海外短期インターンシップ II			△			1-4年
31	機械・システム工学科概論 I		◎				1年前期
32	物理化学		◎				1年前期
33	情報処理演習		○				1年前期
34	エネルギー環境概論		○				1年前期
35	はじめての原子力工学		○				1年前期
36	機械・システム工学科概論 II		◎				1年後期
37	解析力学		◎				1年後期
38	機械材料 I		◎				1年後期
39	電気工学概論		◎				1年後期
40	計測工学基礎			△			1年後期
41	製図基礎			△			1年後期
42	材料科学総論			△			1年後期
43	生物システム入門			△			1年後期
44	計算機システム			△			1年後期
45	材料力学 I		◎				2年前期
46	熱力学 I		◎				2年前期
47	流れ学 I		◎				2年前期
48	製図・CAD基礎			△			2年前期
49	ロボットと医療・福祉			△			2年前期
50	機械材料 II			△			2年前期
51	制御工学 I		◎				2年後期
52	機械力学 I		◎				2年後期
53	機械工作実習			△			2年後期
54	材料力学 II			△			2年後期
55	熱力学 II			△			2年後期
56	流れ学 II			△			2年後期
57	原子炉構造工学入門		○	○		△	2年後期
58	創造演習 I		◎		◎		3年前期
59	原子カプラント工学		◎				3年前期
60	数値解析入門	○	○	△			3年前期
61	材料力学 III			△			3年前期
62	流体力学			△			3年前期
63	機械力学 II			△			3年前期
64	材料強度学			△			3年前期
65	制御工学 II			△			3年前期
66	創造演習 II		◎		◎		3年後期
67	量子力学		◎				3年後期
68	伝熱工学			△			3年後期
69	機械システム技術英語				◎		4年前期
70	加工学 I			△			2年前期
71	機械要素設計 I			△			2年後期
72	加工学 II			△			2年後期
73	メカトロニクス			△			2年後期
74	機械工学実験			△			3年前期
75	機械要素設計 II			△			3年前期
76	エネルギー変換			△			3年前期
77	トライボロジー			△			3年後期
78	先端機械設計演習			△			3年後期
79	ロボット工学基礎実験 I			△			2年前期
80	応用電気電子回路			△			2年前期
81	デジタル回路			△			2年前期
82	ロボットプログラム I			△			2年前期
83	生物とロボット			△			2年前期
84	機械推論			△			2年前期
85	ロボット工学基礎実験 II			△			2年後期
86	ロボットプログラム II			△			2年後期
87	グラフィクスと認知			△			2年後期
88	人工知能論			△			2年後期
89	ものづくりを支える科学			△			2年後期
90	制御システム論			△			2年後期
91	ロボット要素論			△			2年後期
92	ロボット工学創造実験 I			△			3年前期
93	信号処理			△			3年前期
94	ロボットビジョン			△			3年前期
95	インテリジェントシステム処理論			△			3年前期
96	現代制御理論			△			3年前期
97	ロボットメカニクス			△			3年前期
98	基礎高分子科学			△			3年前期
99	ロボットと非線形動力学			△			3年前期
100	ロボット工学創造実験 II			△			3年後期
101	自律システム			△			3年後期
102	生物ロボットの認知・情報処理			△			3年後期
103	人とヒューマノイド			△			3年後期
104	人間情報システム			△			3年後期
105	ブレインマシンインターフェース			△			3年後期
106	ロボット制御論			△			3年後期
107	放射化学・放射線化学		○				2年前期
108	核燃料サイクル工学入門		◎				2年前期
109	放射線の医療応用		○				2年後期
110	放射線化学・生物学		○				2年後期
111	原子力安全工学実験 I		◎		◎		3年前期
112	原子炉物理学序論		◎				3年前期
113	原子力材料学		○				3年前期
114	核燃料工学		○				3年前期
115	リスク評価概論		○				3年前期
116	原子力安全工学実験 II		◎		◎		3年後期
117	原子炉工学		◎				3年後期
118	原子炉制御工学		○				3年後期
119	放射線防護工学		○				3年後期
120	廃止措置工学		○				3年後期
121	原子力防災論		○				3年後期
122	原子力・耐震耐津波工学		○				3年後期
123	卒業研究		◎		◎		4年通年

専門教育科目